

第163号

平成13年 12月議会
(2001年)

ふなばし 市議会だより

発行 船橋市議会
編集 広報編集委員会
船橋市湊町2-10-25
電話 047(436)3012
<http://www.city.funabashi.chiba.jp/gikai/index.html>



中央卸売市場初せり

第4回定例会

船橋市特別養護老人ホーム条例等11議案を可決

平成14年度 西船地区 習志野台地区
に保育園着工

平成十三年第四回定例会は、十二月三日から十二月二十一日までの十九日間の会期で開かれました。

初日には、閉会中継続審査事件となっていた平成十二年度各会計決算の審査報告と採決が行われたほか、市長から提出された九議案について説明があり、七日はこれに対する質疑を四人の議員が行いました。

また、十日から四日間、一般質問が行われ、二十二人の議員が市政の諸問題について質問いたしました。

さらに、十七日には常任委員会、十八日には予算特別委員会が開かれ、付託された議案及び請願・陳情の審査が行われました。

最終日には、議案、請願・陳情及び追加提出された議案を議決し、閉会いたしました。



船橋市議会議長 千葉 満

新春を迎えて

市民の皆様、明けましておめでとうございます。平成十四年が輝く陽光の中、皆様と健やかに迎えられることをお慶びいたします。

昨年千葉県は堂本知事が誕生し、女性の視点から新たな県政を実践しておりますが、船橋市では、六月二十四日の市長選挙で藤代孝七市長が二期目の信任を受けました。藤代市長には、財政運営の厳しい二期目の船出であり、全知全能を傾注し、市民要望の実現に行政手腕を発揮していただきたいと思っております。

このような困難な時代ではありますが、J.R.船橋駅南口の再開発事業も順調に推移し、再開発ビルの姿も目に見える形となっております。本年上半期には全容が一目見えるよう、大変楽しみながらの始めでございます。

京成の高架化事業も佳境に入っております。市民の期待はますます大きくなっております。

一方、市民生活に密着した福祉施策や下水道事業、教育行政等は重大な課題であり、議会といたしましても、藤代市長の舵取りを見極め、厳しい目をもって議会活動の充実に努めてまいります。皆様の一層のご支援を賜りますことをお願いいたします。

会議の経過

- ◆十二月三日(月)
 - 開会
 - 会期の決定
 - 決算認定の審査報告と採決
 - 議案の提案説明
- ◆七日(金)
 - 議案に対する質疑
 - 議案の付託
 - 行政報告(元教頭による業務上横領事件のその後の経過について)
 - 行政報告に対する質疑
- ◆十日(月)
 - 一般質問
- ◆十一日(火)
 - 一般質問
 - 請願陳情の付託
- ◆十二日(水)
 - 一般質問
 - 議会運営委員会
- ◆十三日(木)
 - 一般質問
- ◆十七日(月)
 - 常任委員会
- ◆十八日(火)
 - 予算特別委員会
- ◆二十一日(金)
 - 付託事件の審査報告及び採決
 - 追加議案の提案説明、質疑、採決
 - 議案の採決
 - 閉会

議案について

議案の概要

予算関係

平成十三年度一般会計補正予算
 第一号
 ・補正額
 二億八千五百万円

条例関係

公益法人等への職員の派遣に関する条例
 第三号
 公益法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律の制定に伴い、公益法人等への職員の派遣について所要の定めをするもの。

政治倫理の確立のための船橋市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例
 第三号
 政治倫理の確立のための国会議員の資産等の公開等に関する法律の一部改正に伴い、資産等報告書の記載事項について所要の改正を行うもの。

船橋市特別養護老人ホーム条例
 第四号
 新たに特別養護老人ホームを設置するに当たり、その設置及び管理について規定するもの。

船橋市放課後ルーム条例の一部を改正する条例
 第五号
 中野木放課後ルームを新築移転するについて、その位置を変更するもの。

都市計画法に基づく開発行為等の基準に関する条例
 第八号
 都市計画法の一部改正に伴い、開発行為等の許可の基準について所要の定めをするもの。

の。

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 第十号
 国家公務員の給与改定に準じ、一般職の職員の期末手当の額の改定等を行うもの。

特別職の職員の給与等に関する条例及び船橋市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例
 第十一号
 一般職の職員の給与改定に準じ、特別職の職員及び教育長の期末手当の額の改定を行うもの。

旧パール地下街改修建築工事請負契約の締結について
 第七号
 船橋駅南口市街地再開発事業及び船橋駅南口交通広場整備事業に関連する整備事業として、旧パール地下街に公共地下通路、地下自転車駐輪場及び地下駐車場の整備を行うもの。

アンデルセン公園拡張用地の取得について
 第八号
 アンデルセン公園拡張用地として、千葉県地方土地開発公社へ事業委託して土地を取得するもの。

損害賠償額の決定及び和解について
 第九号
 交通事故による損害賠償請求について、損害賠償の額を定め、和解するもの。

質疑

（新風は、五会派（市清会・新風・ふなばし21・清新会・緑政会）を代表して質問しました。）

公明党

第一号について

問 児童手当の所得制限緩和に対する周知はどうか。
 答 市の広報への掲載、パンフレットの配布など、PRに努めたい。

問 乳幼児医療費の市単独で補助している部分の対応は、現物支給が可能な制度になるよう、県に伝えたい。
 答 教育現場におけるコンピュータ整備の考えは、十七年度までに、校内LANの整備とあわせ、一人一台の整備を進める予定。

第二号について
 第一号について
 問 船橋駅南口再開発ビル管理会社設立に伴う、権利者の意向や出資割合の決定方法は、どうなっているのか。
 答 権利者の大多数から賛同を得ている。専有面積や区分所有者数の加味など、バランスを考慮した出資割合を検討中である。

第三号について
 第一号について
 問 派遣職員は、その業務の推進者になると認識している。市民から、市役所が身近に感じられると言われるのも、出先機関や窓口業務が多く、職員がどの部署でも全力を尽くす姿勢を、常

日本共産党

第一号について

問 船橋駅南口再開発ビル管理会社の資産保有禁止、企業会計公開等を定款で定めるべきか。
 答 市の利益保護の立場から権利者と検討する。

問 初等教育に校内LANを活用する教育意義は何か。
 答 情報活用能力向上、校内情報流通の活性化等により学習の多様化が図れる。

問 駅前通り歩道上の駐輪場の緩和にはつながらるか。
 答 ここに千台の駐輪場を予定しており、歩道上の駐輪場の緩和は図られる。

問 工事中の安全対策は、作業エリアの明確な区分を行い、交通整理員等を適切に配置する。
 第八号について
 問 前定例会に続き、この公園用地を取得する理由は、国庫補助金を受けるため、対象用地を今年度中に取得する必要がある。

市民連合

第一号について

問 児童手当について、当初歳出予算と補正後歳出予算とで、国庫負担金の割合が違ふ理由は何か。
 答 手当受給者の加入する年金の種類で国庫負担金の割合が定められるが、当初と補正後では各区分の対象者数が異なったため。

問 乳幼児医療扶助費について、昨年四月に助成対象年齢を一歳引き上げたことにより本年度予算を補正する理由は何か。
 答 二年以内の医療費が助成の対象であり、本年度は昨年度分の請求もあるため。

問 再開発ビルの管理会社が「建物の共有部分の管理」

第二号について

問 労使間同意事項の想定外状況が発生した場合、職員が同意を撤回する権利を条例に明記すべきではないか。
 答 その際は派遣中止を検討する。

問 派遣による不利益解消は、復帰後の調整・処遇等で対応したい。
 第七号について
 問 一億円以上の事業にも受注希望型入札を導入せよ。現在の試行結果の問題点を整理し、検討したい。

問 オートバイ用駐車スペースを確保できないか。
 答 ガソリン等危険物燃料を積んでいるため、地下施設への確保は困難である。

問 市街化拡大の歯止め策は、今後の開発状況を見きわめ、まちづくりに取り組む。
 第六号について
 問 条例施行による本市まちづくりへの影響は、依然厳しく規制しており、良好な開発がなされると考える。

第三号について

問 市営で行うべきでは、人材確保、法人のノウハウ活用、最少経費等の観点から委託を選択した。
 問 委託によるサービス内容のメリットは何か。
 答 よりよいスムーズなサー

のみ行う理由は何か。
 答 複合ビルで、床の取得や運用はリスクが伴ったため。
 問 ビルの利用計画は、五階は船橋駅連絡所と消費生活センター、通路は情報コーナー、六階は多機能スペースを設置したい。

問 職員団体との合意の成立の必要性をどう考えるか。
 答 運用に係る部分について職員団体と協議会を設け、話し合いを続けている。
 第四号について
 問 委託先を条例ではなく規則に落としただけか。
 答 地方自治法の解釈では、委託先は管理委託の基本的事項として条例で規定すべきとされている。

問 用地の買取計画は、北口ゲート部分の借地箇所を本年度買取予定。地権者の意向を尊重しながら、十年程度で整備したい。

第六号について

放課後ルームが適正な生活集団規模となるよう、施設改善すべきではないか。
 答 ワンフロア施設によりスペース有効活用が可能となり、異年齢交流・集団生活による健全育成が図れる。
 第三号について
 問 本年二定で上程された現場状況との相違点は、今回は公共地下通路を介し接続するので作業エリアは重複しない。車両等の進入路は旧パール地下街の車路を使用する。
 第八号について
 問 用地の買取計画は、北口ゲート部分の借地箇所を本年度買取予定。地権者の意向を尊重しながら、十年程度で整備したい。

※ユニットケア（小人数のグループに区切って世話をする介護方法）

各委員会の審査概要

総務委員会

審査事件

○議案2案
○陳情4件

審査の概要

第2号公益法人等への職員の派遣に関する条例については、「条例は、公益法人等への職員派遣のルールづくりで、

厚生委員会

審査事件

○議案2案
○請願陳情13件

審査の概要

議案について

第4号船橋市特別養護老人ホーム条例は、市が負担する事業費、入所調整委員会の構成や判定基準等について質疑があった。

建設委員会

審査事件

○議案3案
○陳情9件

審査の概要

第6号都市計画法に基づく開発行為等の基準に関する案

環境経済委員会

審査事件

○議案1案
○陳情2件

審査の概要

第9号損害賠償の額の決定及び和解については、①公用車に民間人を同乗させての調査内容、②民間人同乗の基準、③車の破損から見て負傷程度が重い、複数の医療機関に診断させる方法とっているのか等の質疑があった。

文教委員会

審査事件

○請願1件

審査の概要

請願第4号教育予算増額等に関する請願は、主な質疑として、市費で教員を採用することを含め、法が改正されないことと三十人以下学級はできないのか。県の運用の基準が変更されれば、可能になるのか。三

平成十二年度決算を認定

第3回定例会で設置された

決算特別委員会(斎藤忠委員長、中村洋副委員長外十二人)は、平成十二年度決算(一般会計、特別企業会計)十一件について、十一月六日から三日間にわたり質疑を行い、九日に討論・採決を行った。

一方、福祉や教育切り捨ての内容となっており、市民サービスに直接かわる部門での行革が進められ、また本来、県が負担すべき費用を市に押しつけていたり、税金の使い

予算特別委員会

議案第1号平成13年度一般会計補正予算については、

質疑終了後、「再開発ビル管理運営会社は、将来の法人形態を担保するよう、市が過半数の株を所有すべきである。校内LANや放課後ルームは、その効果を比較して予算執行すべきであり、反対」「南口再開発ビルは、権利者や業務内容が多岐にわたっており、各所有者の協調体制を保持するため

議会運営委員会

市議会各種委員会の傍聴に関する陳情は、

②の審査順序については、議案は全体にかかわるもので、請願陳情より優先される。陳情は時間を区切って審査し、

可決された意見書

狂牛病感染ルートの解明と関係業者への損害補償等に関する意見書

保育所整備計画策定及び施設整備費増額に関する意見書

WT0(世界貿易機関)農業交渉に関する意見書

可決された意見書

WT0(世界貿易機関)農業交渉に関する意見書

骨髄バンク利用の医療保険適用に関する意見書

准看護婦・士の移行教育に関する意見書

各会派

新年の抱負

市清会



田中 恒春
興松 勲
中村 洋
米井 昌夫
田久保好晴
佐々木照彦
佐藤新三郎
滝口 宏
榎田 信明

経済不況が日常化し、生活の安全が脅かされ始めている中、新年を迎えました。

バブルの夢は消え、今こそ私たちはそれぞれの立場で現実を直視し、誠実で堅実な日々の努力を重ねることが求められております。

私たちが市清会の九人のメンバーは、年頭に際し、市民生活の向上と船橋市の発展のために、全力を投じたいと決意を新たにしております。

平成十四年が、皆さまのご家庭に幸多からんことをご祈念申し上げます。

新風



野田 剛彦
中村 静雄
大沢 久
小石 洋
斉藤 守

これからの船橋はどうあるべきか。少子・高齢化対策、教育・文化振興、生活環境・都市基盤整備……。『変えるべきは変える』決断と勇気を持って、さまざまな分野で改革に挑戦している五人です。

「市民が安全で安心して暮らせる」社会づくりを原点に、より一層の市民福祉の充実、向上に努めてまいります。市民の皆様と協力して、個性豊かで活力に満ちた地域社会をつくるために犬馬の労をいとわない覚悟です。本年も皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

緑政会



七戸 俊治
木村 哲也

新年明けましておめでとうございます。

地方分権の推進と共に、地方政治も大きな変革を遂げる時が参りました。私共緑政会は、少子・高齢化問題を中心に環境、地域経済の発展、都市基盤整備、行財政改革等の諸問題に全力で取り組み、積極的に議論して参ります。

これからも温かいご支援を賜りますと共に、市民の皆様のご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

ふなばし21



中村 実
長谷川 大
和田 善行

清新会



森田 則男
瀬山 孝一
早川 文雄

新年あけましておめでとうございます

清らかに新しく

初心を忘れずに

市民の為に一生懸命

働く事をお約束致します。

本年も皆様のご指導を

お願い申し上げます。

市民の皆様希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平成十四年がすべての人々に幸せをもたらすよう心からお願いいたしております。今年こそ長引く不況から脱出し、政治も経済も安定してほしいものであります。私どもふなばし21は船橋市発展のため、市民の皆様方の生活安定のため、全力を尽くしてまいります。今後とも温かいご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

無所属



佐藤 浩



安藤 信宏

日本共産党



伊藤 昭博
金沢 和子
関根 和子
佐藤 重雄
石川 敏宏
岩井 友子
津賀 幸子
草野 高德
高橋 忠

みなさんと力をあわせ市民生活を守る年に
新年おめでとうございます。

昨年は三番瀬保全や乳幼児医療費助成の現物給付も約束され、長年の市民運動が実りました。
また、高すぎる公共事業費を引き下げる入札制度改善や施設不足となっている特養ホーム建設・保育園増設等も前進しました。
しかし、多額な税金を投入するJR船橋駅南口再開発や都市計画道路整備の事業が教育・福祉の予算を圧迫しています。
日本共産党市議団は市民要望の強い生活道路整備や子育て・介護支援など、市民生活・福祉最優先の市政をめざし今年も奮闘します。

自民党小泉内閣の「改革」が底知れぬ不況や失業の増大を起し、さらに、医療改革で国民の生命まで脅かしています。
大企業を優遇する一方で、国民には、まだ政治的激痛を押しつけるのでしょうか。
21世紀2年目の今年こそ
「国民生活に不安のない社会を」
「テロや戦争のない世界を」
と国民的な行動を起こしましょう。



市民連合



中江 昌夫
千葉 満
池沢 敏夫
斉藤 誠

福祉を大切に
高齢者や障害者にやさしい街づくりを

環境を大切に
人と自然にやさしい街づくりを

平和と文化を大切に
緑豊かな街づくりを

市民の声を大切に
市民本位の市政をめざします

二〇〇二年が
すばらしい年でありますように

小さな声ネットワーク



さとうもよ
木村ゆり子
朝倉 幹晴

二〇〇二年春 心から平和を祈念します。
会派「小さな声ネットワーク」は朝倉幹晴、木村ゆり子、さとうもよの三人です。朝倉幹晴は「安歩権」(歩行者が安全に歩ける権利)の確立をめざしています。木村ゆり子は、気軽に市政にご参加いただく政策ラボを活用し住みやすい船橋を提案していきます。さとうもよは、自分らしい暮らしを尊重し合う「市民参加」のまちづくりを進めます。「小さな声」の切実さを市民とともに検証しながら普遍化し、市政に反映させていきます。三人とも活動をHPで公開中、ご覧下さい。

公明党



鈴木 郁夫
松崎 裕次
齋藤 忠
高木 明
角田 秀穂

新年明けましておめでとうございます。

公明党は、「人間主義を政治の原点に」市民生活向上に取り組み参りました。皆様のご理解、ご支援に心より感謝申し上げます。

希望の持てる新たな時代のため

一、活力ある福祉・健康社会の構築。

一、豊かな住環境のまちづくり。

一、教育と芸術文化の創造と振興。

一、生命を守る循環型社会の構築。

一、個性と能力を生かした共同参画社会。

公明党市議団九名は、生活者重視の政治の実現に全力で取り組んで参ります。

皆様のご健康ご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

ここがききたい 一般質問

ふなばし21

新しい学校の制度を

問 政府の総合規制改革会議で、コミュニティスクール制度導入に向け、必要な改正を検討するよう求めているが、今後、今までにない学校の制度というものをいかに弾力的に運用して、子どもたち、そして保護者の期待にこたえていくのか。

答 国も来年度から慎重に調査検討することとなる。

で、新しいタイプの学校の導入については、今後の国の動向を見守って考えていきたい。

都市計画道路の拡幅を求めて

問 都市計画道路三・五・三(一号線(西船橋駅印内線)の国道十四号線から葛飾小学校までの間は、幅員も大変狭く、通学時間帯は特に危険である。早急な拡幅を求めたいが、今後の計画及



通学路の安全確保を(西船橋駅・印内線)

び取り組む決意はどうか。

答 歩行者の安全を重視した交通安全施設等整備事業として検討するため、地元に対し説明会を実施し、現況測量に対する協力をお願いした。今後、この測量結果

公明党

雇用創出について

問 国の第一次補正予算「緊急雇用創出特別交付金」の事業計画概要を伺う。

答 平成十四年度から十六年度までの間、①街角清掃・美化指導業務②違法駐車防止事業③観光コース開発事業④IT技術振興事業⑤図書館施設管理警備委託事業⑥少人数授業等担当補助教職員活動事業を計画し、三か年で、延べ約六万六千人の雇用創出を計画している。

開かれた学校教育を目指して

問 台風による臨時休校の連絡が遅くなり、昼食の準備ができず困った家庭があったが、判断基準はどうなっているのか。

答 学校の立地条件や当日の日課等を考え、校長の判断により、児童生徒の安全

をもとに計画図を策定するとともに、財政状況、地元地権者等の動向等を勘案しながら、できるだけ早い時期に整備できるようにしたい。

三番瀬ミュージアムについて

問 「三番瀬ミュージアム」という言葉が使われているが、市としては、名称を定めるに当たっては、どういう姿勢で臨んでいるのか。

答 誰もが呼びやすく、親しみのあるイメージとして「ミュージアム」という言葉を使ってきたところであり、今後、この測量結果

責任としての住民の役割を伺う。

答 適正な分別排出による排出抑制と、適正に事業者に引き渡しを行い再使用等に協力することである。

問 生産者の役割はどうか。

答 製造材料規制や耐久性の向上及び修理体制の充実、また設計段階での工夫や材質表示等の責務がある。

不審火の対応は

問 十一月二十二日の明け方、本町一・二丁目及び海神一丁目不審火による火災があった。消防局の対応を伺う。

答 即日、船橋警察署と協議を行い、同日夜間より中央署及び夏見分署各隊により警戒監視している。

子育て支援センターの整備について

問 昨年十月、南本町に開設した子育て支援センターは大変好評である。他の地域についても、学校の余裕教室・公共施設の改修等によ

り同施設の整備ができないか。

答 今後、市域にバランスよく配置していきたい。来年度、高根台地区の高根台第一小学校の余裕教室を改修し、新たに設置する予定である。

緑政会

少子化対策について

問 保育園の待機児童解消策として施設整備も必要であるが、今後の少子高齢化を懸念した人口調査等、研究・施策立案等の専門機関が必要ではないか。

答 各市民等が参加したパートナーシップ型のまちづくりを目指し、情報提供等の働きかけを行っている。また、市内関係部課での計画調整及び市民参加の徹底について意思統一を図っている。

コミュニティの将来構想を

問 高齢社会や少子化対策などへの対応を考えると、現在の町会を単位とした「生活コミュニティ」や「地区コミュニティ」の枠組みを再検討する必要があるのではないかと。

答 生活コミュニティの枠組みについては、将来的に再検討すべき時が来るとは認識している。当面は、市民の自主的なコミュニティ活動の促進、地区協会の充実、NPOセンターの設置等、コミュニティ活動の拠点づくりを進めていきたい。

子どもと本の出会いについて

問 昨年度、読書活動推進事業として学校図書館の機能充実と環境整備を進めたが、貸出しの状況に変化はあったか。

答 各学校の図書貸出しは、確実に伸びてきている。図書標準に対する整備状況はどうか。

西船橋のまちづくりを伺う

答 現在策定中の「子育て支援計画」及び「高齢者保健福祉計画」についても、人口推移、地区・年齢別人口の把握は重要な問題と考え、十分精査していきたい。

問 今後の緑地保全に当たり、計画段階から住民参加が必要ではないか。

答 住民参加を求め、計画策定を進めていきたい。

て進んでいる。まちとしての整合性の点から、全体構想と市のかかわり、市としての将来構想を伺いたい。

小さな声 ネットワーク

問 緑のおばさん、生きがい福祉事業団職員の配置による監視の可能性とあわせ、通学時の通学路の規制を強化するため出入口に遮断機を設置し、居住者・指定車以外は通れないようにしてはどうか。

答 現在、小学校十一校、中学校二校で実施しているが、朝に限らず読書運動の時間を設けている学校が増えている。

通学路の安全について

問 都市計画法改正に伴い市街化調整区域の開発による緑の減少が進むと思われるが、基本計画の見直しの考えはあるか。

答 市街化調整区域内の緑地保全対策として緑地保全地区制度の活用等、早期に対応すべきと考え、基本計画の見直しに着手する時期と考えている。

緑豊かなまちづくりを

問 都市計画法改正に伴い市街化調整区域の開発による緑の減少が進むと思われるが、基本計画の見直しの考えはあるか。

答 市街化調整区域内の緑地保全対策として緑地保全地区制度の活用等、早期に対応すべきと考え、基本計画の見直しに着手する時期と考えている。

子どもが安心して通学できる対策を

問 法的制限等諸問題が考えられるため交通管理者、道路管理者等関係機関と協力し、調査研究していく。

問 三番瀬の環境保全

答 保全の意味は、海を活かしたまちづくり推進協議会でどう理解されているか。三番瀬を含めたまちづく

り、保全再生で理解いただいている。

都市計画道整備事業について

問 都市計画道路三・五・三(一号線(西船橋駅印内線)の整備事業で市民参加のみちづくりはどうか。

答 道路では交通管理者等との協議が必至。理解いただいたうえで市民参加も進めていきたい。

学校給食について

問 狂牛病発生の九月に安全が確認されていない段階で、一旦、牛肉・素材使用を自粛すべきだったと思うが、なぜしなかったのか。

答 国や県で自粛について示されていなかった。根拠もなく自粛することは、一層不安をもたらすことと判断し、各校長にゆだねた。



子どもが安心して通学できる対策を



計画的なまちづくりを(西船橋駅周辺)

日本共産党

大型公共事業にも早期の入札制度見直しを図れ

問 入札制度については、十一月から一部郵便方式が取り入れられ、効果が上がっている。新年度の予算編成にも大きく影響するので、大型の公共事業にも早期に取り入れてもらいたいと思うがどうか。

答 緊急の計画が必要なものの、入所率、人口動態の推計をして、長期的に待機児童が生じないようにしていく。総合的な観点から、整備・検討を図るため、量と質のバランスをとりながら施策を進めていきたい。

市道飯山満・七林線について

問 受注希望型入札制度(郵便方式)による入札制度を、来年度大型工事についても導入できるかどうか積極的に検討していく。

答 決定されただけで、いつでも見通しのない都市計画道路を優先させるのではなく、住民が望んでいる市道飯山満・七林線の計画的な整備が必要ではないか。

保育園の待機児童解消策は

問 待機児童の解消に向けた積極的な対策の中身はどうか。また、何になっているのか。

答 現在の幅員で対応できる箇所があれば、前後の状況も十分踏まえ調査し、効果

新風

今後の職員のあり方を問う

問 地方分権・新時代を迎え時代の変化に対応する人事評価システムや、職員一人一人が危機意識を持つ必要があると考えるがどうか。

答 本年六月に「ふなばし職員職場変革プロジェクト」を設置し本市にふさわしい人材育成基本方針を検討しており、一月の市長への提言を目指している。

水難救助体制の強化

問 現在の水難救助体制はどのようになっているか。

答 潜水器具を装備した水難事故専門隊は発足していないが、特別救助隊及び特別救急隊を含む消防部隊を出動させ、警察や海上保安庁等の関係機関と連絡を密にし対処している。

介護保険の充実

問 本市の視点に立った市民サービスを提供し市民全体の満足度を高めること、職

答 市民の視点に立った市民サービスを提供し市民全体の満足度を高めること、職



介護保険の充実に向けて

問 本年十月から保険料の満額徴収が始まったが、市民の反応はどうか。

答 本年十月から保険料の満額徴収が始まったが、市民の反応はどうか。

的な改善ができれば速やかに歩道整備に努めたい。

マンション対策を問う

問 市内の全分譲マンションに対する実態調査を実施し、マンションの維持管理について、管理組合や住民の悩み、意見などを集約できないか。

答 先月、調査票を個々のマンションに対し発送した。個々の管理組合が抱えている問題の把握については、現在の調査の整理が終了次第、準備をしたい。

飯山満土地区画整理事業について

問 事業が計画的に進んでいないが、事業を見直す考えはないか。

答 行政としての継続性は堅持していかなければならないと考えている。仮に見直しを行う場合には、国・県等の意見も参考にし、権利者の意向を十分に聞く必要がある。少しでも事業効果



安心して住み続けられる施策を(高根台団地)

住宅政策について

問 どうなるかわからない公団の民営化に船橋の住宅政策をゆだねられるのか。

答 本市にとっても、農産物の対応を図っていかなくてはならないと思っている。セーフガードの本発動は必要であると考えているので、発動について要望していきたい。

少人数学級の実現に向けて

問 本年九月議会で、市長から、「少人数学級の実現を図りたい」との答弁があった

答 本市にとっても、農産物の対応を図っていかなくてはならないと思っている。セーフガードの本発動は必要であると考えているので、発動について要望していきたい。

市民連合

中核市移行への準備体制について

問 保健所業務の引き継ぎが中核市移行時に完了しない場合の職員の対応はどうか。

答 移行時には、県の協力により研修育成した市職員を配置するとともに、必要人数の県職員の派遣を要請している。

西船橋駅バリアフリー化の事業計画を問う

問 改札構内の丁良側の階段及び駅舎への今後の事業計画はどうか。

答 総武線及び武蔵野線各ホームにエレベーター一基及びエスカレーター上下それぞれ一基、また、北側階段部分にも同様の設置計画を

農業ボランティアの育成

問 農業振興のため、以前から農業ボランティア制度等

答 範囲内で対応できる見込みである。

財政再建への取り組み

問 郵送による入札によって落札率が下がったというところだが、将来的にインターネットを利用した入札方法を導入する考えはないか。

答 中核市は平成二十年度までに電子入札を採用するという国の指導があるので、国の



農業振興の拠点(農業センター)

問 北口階段の事業計画の進捗状況及び工事施工時期はどうか。

答 改修工事に伴う仮設階段の設置方法等について協議を進めている。引き続き工

無所属

ソフトを活用して導入して

問 ソフトの活用して導入して

答 市の財政の全体像を見るためには、特別会計や企業会計との連結的なバランスシートが必要ではないか。

飯山満中学校元教頭の流用事件を問う

問 千五百二十八万九千七百十四円の被害届は、最終額と理解しているのか。

答 警察での取り調べ中であるため、断定はできない。元教頭からの引き継ぎが安易であったため、事件の拡大になった。責任は厳しく問われるべきで、流用額相当の推算した預金利息を請求すべきではないか。

教育委員会に責任を問う

問 教育委員会に責任を問う

答 教育委員会に責任を問う

市清会

駐輪場対策について

問 葉園台駅、船橋日大前駅では、駐輪場に余裕があるのに放置自転車が多い理由と今後の対策を伺う。

答 葉園台駅については、一部の方々に駐輪場利用の理解が得られていないことから、今後も街頭指導員による放置防止の啓発を行う。船橋日大前駅については、駐輪場が駅利用者の動線上になく放置自転車が発生しているため、今後、自転車利用者の動線上に新たな駐輪場用地の確保と、街頭指導員による放置防止の呼びかけを行っていく。



北習志野駅前の違法駐輪

問 北習志野駅の放置自転車対策として、駐輪場の増設は考えているか。

答 新たな駐輪場の設置が特に必要な駅の一つであると考へており、今後も用地確保に向け努力していく。

問 北習志野駅放置自転車対策として、ボランティア活動等を含めた市民参加による指導整理を行う考へはないか。

答 引き続き地元商店会を初め関係機関と話し合いを進

め、良好な交通環境の保持向上に努めていく。

問 習志野駅の駐輪場は、改札口から踏切を挟んだ西側にしかなく、駅東側からの利用に際して不便となっており、改札口側にも駐輪場が必要と考へるがどうか。

答 来年度を目途に改札口側に新たな駐輪場の設置が図れるよう、鉄道事業者と協議を進めている。

保育需要の増加に伴う保育所整備の推進策について

問 保育園の入所が難しい習志野台地区へ、余裕ある公共用地や施設を利用して保育所の整備に取り組むべきと考へるがどうか。

答 習志野台地区の待機児童対策として、習志野台第二小学校の敷地の一部を利用して、平成十四年度に保育所の建設を考へている。

(BC) (バイオ・ケミカル) 災害への対応は

問 BC災害に対する対策と対応組織はどのようなものか。

答 医療関係者・防災関係者で構成する災害医療活動研究委員会を開催し、対応マニュアルの作成準備をしている。また、BC災害が発生した場合は、地域防災計画に基づき災害対策本部を設置し対応していく。

公民館等公共施設での対策、施設管理者への危機管理教育はどのように行っているか。

答 職員による施設巡回等を行

い、不審物、不審者の早期発見と事故の未然防止に努め、施設管理者に緊急マニュアルを配布し危機管理の指導をしている。

問 BC災害が発生した場合の県警や医療機関、国・県機関との連携体制はどうか。

答 総務省通達を参考とし、本市の実情に応じて、関係機関と協議・調整し対応できる体制を整備していく。

狂牛病対策について

問 消費者、市民にどのような方法で不安を払拭し信頼を回復するか伺いたい。

答 狂牛病対策庁内連絡会議を開催し、市民や酪農家からの相談の対応と情報の一元化を図った。また、県民だより特集号等を農水産祭会場で配布し信頼回復の啓蒙を行ってきた。

経済的影響や環境に対し、どのような復興・改善策、補てん策を考へているか。

答 運転資金や設備資金として利用できる融資制度を初め、今後も、国・県と関係

団体等と連絡を取り合いながら適切に対応していく。

問 地区社会福祉協議会における財源の確保や助成金の要望についてどのように考へているか。

答 地域に根差した事業を充実させるためアンケートを実施しており、このアンケートを参考に財源を含めた総合的な事業計画を市社会福祉協議会と協議・検討していく。



大穴地区福祉協議会のミニデイサービス事業

問 千葉県立高等学校再編成計画策定懇談会の設置目的等について伺う。

答 千葉県教育委員会では、県立高校を魅力・活力ある高校へ生まれ変わらせるため同懇談会を設置し、本年九月に「県立高等学校再編成計画(案)」を作成したことを承知している。この中で、目指すべきこれからの県立高等学校像が述べられている。

魅力ある高校に

と考へるが評価はどうか。

答 高齢者がミニデイサービスに参加し、生き生きと元気をみなぎらせており、介護予防へ貢献していると考え

常任委員会

委員長の変更

総務委員会委員長の改選が行われました。

新委員長 佐々木 昭彦 (市清会)

所属会派の変更

安藤 信宏議員 十一月十九日付け、「小さな声ネットワーク」から「無所属」となりました。

お知らせ

市議会だよりに対するお気づきの点がございましたら、下記までご意見等をお寄せください。

船橋市湊町 2-10-25
船橋市議会 広報編集委員会
電話 047(436)3012
FAX 047(436)3013
Eメール gikaigijika@city.funabashi.chiba.jp

～次の定例会は
2月27日開会の予定です～

請願・陳情議決結果一覧表

付託委員会	受理番号	件名	本会議の結果
総務	陳情第28号	京成本線立体化に伴う未買収用地に関する陳情	× 全
	陳情第29号	アメリカの報復戦争への軍事協力中止等の意見書提出に関する陳情	× 多
	陳情第30号	永住韓国人の地方参政権確立の意見書提出に対する陳情	× 多
	陳情第31号	定住外国人の地方参政権付与に反対する陳情	× 全
	請願第3号	准看護婦・士の移行教育早期実現の意見書提出に関する請願	○ 多
厚生	陳情第32号	インフルエンザ予防接種に関する陳情	× 多
	陳情第33号	骨髄バンク利用における医療保険適用の意見書提出に関する陳情	○ 多
	陳情第34号	放課後ルームの時間延長についての陳情	× 多
	陳情第35号	保育所整備計画策定等の意見書提出に関する陳情	○ 全
	陳情第36号	保育所運営費増額の意見書提出に関する陳情	○ 全
	陳情第37号	保育園の新設・増設、緊急対策に関する陳情	○ 全
	陳情第38号	市立保育園の保育室冷房完備に関する陳情	○ 全
	陳情第39号	保育園の保育時間の延長、土曜日の給食実施に関する陳情	○ 多
	陳情第40号	縦割り保育(異年齢の混合保育)の職員配置基準に関する陳情	△ 多
	陳情第41号	保育士増員に関する陳情	× 多
	陳情第42号	保育料の保護者負担軽減に関する陳情	○ 多
	陳情第43号	病後児保育施設の増設に関する陳情	○ 全
	環境経済	陳情第44号	ILOパートタイム労働条約批准の意見書提出に関する陳情
陳情第45号		WTO(世界貿易機関)農業交渉の意見書提出に関する陳情	○ 全
建設	陳情第46号	船橋駅南口再開発ビルの見直しに関する陳情	× 多
	陳情第47号	船橋駅北口まちづくりにおける建築物に関する陳情	× 全
	陳情第48号	(仮称)新日鉄行田1丁目計画に関する陳情	△ 多
	陳情第49号	公団住宅存続の意見書提出に関する陳情	△ 多
	陳情第38号	海老川上流地区区画整理反対に関する陳情(継続審査事件)	△ 多
	陳情第31号	市営テニスコート増設中止等に関する陳情(継続審査事件)	△ 多
	陳情第32号	公営テニスコート料金の見直し等に関する陳情(継続審査事件)	△ 多
	陳情第81号	山一證券跡地のマンション建設計画に対する指導等に関する陳情(継続審査事件)	△ 多
陳情第82号	山一證券跡地の住宅建設計画推進に関する陳情(継続審査事件)	△ 多	
文教	請願第4号	教育予算増額等に関する請願	× 多
	陳情第27号	市議会各種委員会の傍聴に関する陳情	△ 多
議会運営	陳情第76号	議場に国旗掲揚に関する陳情(継続審査事件)	△ 多

○-採択 ×-不採択 △-継続 全-全会一致 多-多数

議案議決結果一覧

議案番号	件名	議決結果
第1号	平成13年度船橋市一般会計補正予算	可決
第2号	公益法人等への職員の派遣に関する条例	可決
第3号	政治倫理の確立のための船橋市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例	可決
第4号	船橋市特別養護老人ホーム条例	可決
第5号	船橋市放課後ルーム条例の一部を改正する条例	可決
第6号	都市計画法に基づく開発行為等の基準に関する条例	可決
第7号	旧パール地下街改修建築工事請負契約の締結について	可決
第8号	アンデルセン公園拡張用地の取得について	可決
第9号	損害賠償の額の決定及び和解	可決
第10号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
第11号	特別職の職員の給与に関する条例及び船橋市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決

第1号、第4号、第6号、第10号については、日本共産党のみ反対。

※BC災害(ウイルス・細菌などの生物化学災害)